

新BOP学童クラブの放課後児童システム導入について（追加報告）

1 主旨

新BOP学童クラブにおいて、職員が児童と向き合い育成する機会の確保及び保護者への利便性の向上を目的とし、児童の出席状況の管理や保護者への情報提供などを行う放課後児童システムを導入することとしている。

本件について、令和3年4月22日の文教常任委員会並びに4月23日の福祉保健常任委員会で報告したところ、区立小学校における既存システムの活用や議会への報告のあり方等について質疑があり、検討を加え、改めて報告することとされた。

検討の結果、現段階における区立小学校におけるシステム等との連携には課題があるほか、民間で提供されている登下校状況通知サービスを活用したシステム構築は困難と判断した。また、既に放課後児童システムの委託による保守及び運営支援並びにパソコン・プリンタのリース契約を締結し、その一部は履行済みとなっている。新BOP学童クラブの事務改善等を早急に進める観点からも、放課後児童システムの導入が必要である。

そこで、放課後児童システムを、一部導入スケジュールを見直し、今後の区立小学校におけるシステム等との連携についての見直しの時期を見通したうえで、令和3年7月より15校で運用を開始し、令和4年度から全校で運用を開始する。

なお、これまでは、個人情報保護及び情報セキュリティ対策の観点から業務や目的ごとにシステム構築を行ってきたところであるが、今後は、個人情報保護等の観点を踏まえつつ、区のICT活用の状況に沿ってシステムの見直しを図っていく。

2 これまでの経緯

令和2年	9月	放課後児童システムの公募によるプロポーザルを実施し、システム構築、運用事業者の決定 システム開発導入委託契約締結
令和3年	1月	事務用パソコン及びプリンタ賃貸借契約締結
	3月	パソコン・プリンタ配備 システム開発・導入完了
	4月	システム保守及び運用支援業務委託契約締結 文教・福祉保健常任委員会への報告

3 区立小学校におけるシステム等との連携の現段階の課題

(1) 緊急連絡メール及び欠席連絡

教育委員会では、緊急連絡メール及び児童の欠席の連絡を行う学校緊急連絡情

報配信サービスシステムを導入しているが、当該システムには、パッケージとして出席管理の機能がない。

このため、放課後児童システムにおいて必要とする集計等の運営管理等業務を処理するためには、新たにシステムを構築する必要がある。

(2) 学校のシステム等の活用

学校緊急連絡情報配信サービスシステム等の学校の既存システムを改修するなどして、放課後児童システムに必要な機能を実現するためには、個人情報保護及び情報セキュリティ対策の観点から異なる業務・目的として構築・運用してきているシステムの統合等について、構築上、運用上の課題を整理し、解決を図る必要がある。

なお、一部の区立小学校において、希望する保護者に児童の登下校メール配信（有料サービス）のシステムが導入されているが、保護者負担あるいは区負担見込額を勘案すると、放課後児童システムとして導入することは困難である。

4 今後の進め方

(1) 放課後児童システムについては、児童とかかわる時間の創出や緊急時等の迅速な連絡体制の確保のため、早急に事務改善を図ることが必要であり、既に公募型プロポーザル方式による手続きを経て提案に沿ったシステムの構築を行い、保守及び運用支援等の契約を締結し、その一部は履行済みであることから中止は困難な状況にある。

そのため、放課後児童システムを、一部導入スケジュールを見直したうえで、令和3年7月に15校での運用を開始する。

(2) 7月からの運用状況を踏まえ、経費の見直しを図ったうえで、令和4年度からの61校全校での運用に向けて準備を進める。

(3) 放課後児童システムの導入に伴い、新BOP学童クラブ運営にあたっての利用者の利便性向上については、児童・保護者の意見を聞きながら改善を進めていく。

(4) 放課後児童システムについては、システムまたは機器の更新の時期をとらえ、学校の既存設備やシステム等との連携の可能性を見据えての見直しの検討を行っていく。見直しにあたっては、適宜、議会に報告する。

5 今後のスケジュール（予定）

令和3年6月	先行15校の保護者通知
7月	15校で運用開始
令和4年5月	61校全校で運用開始（予定）

新BOP学童クラブの放課後児童システム導入について

1 主旨

新BOP学童クラブは、利用する児童が急増しており、職員が児童と向き合い、育成する機会の確保が喫緊の課題となっている。また、保護者からは、児童の入退所情報の通知、欠席や退所時間の入力・変更等の連絡方法等のICT活用についての要望が寄せられている。

そこで、新BOP学童クラブにおいて、児童の出欠や退所時間予定等の情報管理並びに保護者への情報提供、欠席・退所時間等の連絡のICT活用を図るため、放課後児童システムを導入する。

2 放課後児童システムの概要と効果

(1) システムの概要

① 入退所記録

児童は、入退所時、あらかじめ交付された2次元バーコードを貼付した連絡帳を新BOP学童クラブ設置のバーコードリーダーにかざすことで入退所記録を行う。

② 保護者メール通知

保護者は、あらかじめメールアドレスを登録しておくことで、児童の入退所時にメールを受信する。また、新BOP学童クラブからの連絡メールを受信する。

③ 欠席連絡等

保護者は、専用ポータルサイトから新BOP学童クラブあてに欠席連絡等を行う。

④ 運営管理等

新BOP学童クラブ及び所管課は、児童の入退所記録及び欠席連絡等のデータに基づき集計等を行う。(緊急時等、担当課においてリアルタイムで把握する入退所記録データを基にした支援が可能。)

(2) 対象者

新BOP学童クラブの入会承認を受けている児童及びその保護者

(3) 主な機能と導入効果

	機能	効果
児童	入退所時にバーコードをリーダーにかざして入退所時刻を記録。	
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォン等から専用ポータルサイトを利用して入退所時間変更・欠席等、利用に関する情報を連絡。 ・保護者あてのメール受信。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の入退所時間をメールで把握。 ・電話ができない環境でも、スマートフォン等で欠席等の連絡が可能。 ・緊急時、一斉メールで情報が受信可能。

新BOP 学童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・児童出席状況の把握及び利用人数の集計（日別、月別）作成、各種帳票の印刷。 ・保護者への一斉メールの送信。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入退所・欠席情報のデータ活用による集計事務等の軽減。 ・事務軽減による、児童の育成のための時間の創出による人員確保。 ・新BOPに問い合わせすることなく、担当課で児童の出席状況を把握した対応が可能。
---------------	--	--

3 システムの留意事項

- (1) 当該システムでは児童の個人情報を扱っているため、新BOP学童クラブでは専用端末から閉域網を用いることにより、セキュリティを強化した。
- (2) システム構築にあたっては、令和2年度に創設された国、都による補助制度を活用した。

4 概算経費等

(1) 令和2年度（先行15校及び児童課）

歳出	30,340,037円	
内訳・システム構築及び導入費用		29,867,200円
・事務用パソコン及びプリンター機器の賃貸借及び保守		472,837円
歳入	7,363,000円（国庫補助金、都補助金）	

(2) 令和3年度

歳出	57,148,300円	
内訳・システム構築及び導入費用（46校）		28,358,770円
・システム保守及び使用料（61校及び児童課）		22,815,210円
・事務用パソコン及びプリンター機器の賃貸借及び保守		5,974,320円

(3) 令和4年度以降

歳出	45,243,220円／年	
内訳・システム保守及び使用料		37,199,800円
・事務用パソコン及びプリンター機器の賃貸借及び保守		8,043,420円

5 今後のスケジュール（予定）

- 令和3年5月 先行15校の新BOP学童クラブ利用児童保護者へ案内文書配付
6月 先行15校で運用開始
- 令和3年度中 先行15校の運用状況を確認した上で残り46校にシステム専用パソコン等の設置及びシステム操作研修を実施。
- 令和4年4月 全新BOP学童クラブ利用児童保護者へ案内文書配付
5月 全校で運用開始予定

※先行15校

弦巻小新BOP、中丸小新BOP、桜小新BOP、下北沢小新BOP、松沢小新BOP、代沢小新BOP、瀬田小新BOP、玉川小新BOP、東深沢小新BOP、喜多見小新BOP、山野小新BOP、砧南小新BOP、給田小新BOP、烏山小新BOP、千歳台小新BOP